

令和4年度「長久手市役所の仕事」通知表の作成（外部評価）①

令和4年8月3日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和4年度行政評価・外部評価① 「生涯学習推進事業」【生涯学習課】
開催日時	令和4年8月3日（水） 午後2時から午後3時まで
開催場所	市役所北庁舎2階 第5会議室
出席者氏名 （敬称略）	<外部評価実施者（行政改革推進委員）> 石橋健一、田村佳子、樋口和則、安立憲市、近藤恵美子 <担当課> くらし文化部長 門前 健 生涯学習課長 粕谷庸介 課長補佐兼事業係長 生田 創 <事務局> 総務部長 加藤英之、総務部次長 福岡隆也、 行政課長 若杉雅弥、課長補佐 水草 純、庶務係長 佐藤雄亮
傍聴者人数	3人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の 質疑、意見等	<p>（委員）</p> <p>学びアイ講座はさらにPRするべきである。講座の実施状況はどのようなのか。</p> <p>⇒平成20年に開始して以来、747人の講師申込みがあり、276講座が開講された。年毎の開講率は55%ほどである。</p> <p>（委員）</p> <p>講座の数は、開催数か。それとも講座の種類の数か。</p> <p>⇒開催数は講座の種類の合計で、276である</p> <p>（委員）</p> <p>事業内容として自主サークルの立上げ支援を行うとあるが、立上げ後に市は一切関与しないのか。</p> <p>⇒市の施設使用料の減免が得られる等、立上げ後にも支援する仕組みがある。</p>
--------------------	---

(委員)

生涯学習講師人材バンク制度とはどのような制度か。

⇒自分が得意な分野で、教えたいという気持ちがある人が、こんなことができるのと生涯学習課に申し出る制度である。申出のあった内容を人材バンクリストとしてまとめ、窓口で閲覧できるようにしている。

(委員)

人材バンクリストは窓口でしか閲覧できないのか。

⇒インターネットでも閲覧できるが、連絡先は窓口でしか伝えていない。

(委員)

自主サークルの立上げを支援しているとのことだが、立ち上がったサークルはいくつあるのか。

⇒令和3年度は、開講した10講座のうち、7講座が自主サークルとして立ち上がった。

(委員)

学びアイ講座から発足したサークル以外のサークルに対しては、公民館として何か優遇しているのか。市のサークルに対してロッカーを貸し出す等。

⇒していない。

(委員)

行政の関わり方として、市民らが自発的に学ぶことの手助けをすることが理想だと思う。立ち上がった自主サークルにPRの助言をしたり、自主サークルの情報をまとめて発信したりすると良いと思う。

(委員)

学びアイ講座について、行政頼みの構図となってしまうことが課題とのことだが、行政頼みとはどのような状況なのか。

	<p>⇒講座のPR、場所の確保、当日運営について行政に頼るケースが多い。それを、先生と受講者で自主的にやってもらえると良い。</p> <p>(委員)</p> <p>サークルの立上げ時にはパワーがいるため、行政のサポートが必要である。行政に頼りすぎないようにバランスを取るためには、行政が関与の量を減らしていくことが必要だが、減らし方に気をつけないと行政に対する不満が高まる。</p> <p>例えば会社のマネジメント層にいたことのある人は、組織の運営に長けているので、サークルのアドバイザーとして、名簿の管理・連絡網の作成などを任せることができる。そういった人を配置することを支援するという関わり方なら、バランスよく行政の手を離れていけるのではないか。</p> <p>(委員)</p> <p>市の公民館講座としては、学びアイ講座の他に、史跡めぐりと囲碁講座の2講座があるとのことだが、他の事業や施設と連携した講座を増やさないか。エコハウス、リノモテラス等。</p> <p>⇒学びアイ講座を伸ばしていきたいと考えている。講座と講座の横のつながりを手助けする仕組みは今のところないが、市の務めだと思う。講師や受講生から要望があれば進めていきたい。</p> <p>(委員)</p> <p>成果指標を講座満足度としているが、受講者への満足度アンケートだけでは、満足したかしていないかだけなので、学習意欲が高まったのか、生きがいが高まったのかは分からない。事業意図と課題の構造を考え、目標が達成されたかどうかの指標を示すことができるようにしてほしい。</p>
<p>講評・まとめ</p>	<p>受講生らが自主サークルを立ち上げ、運営することは、行政の手助け無しには難しく、また、行政がどのように手を放していくかも難しい。例えば、現役時代、マネジメント業務を行っていた人でリ</p>

タイアした地域の人を、サークル運営のアドバイザーになっていた
くよう支援してはどうか。

成果指標を講座満足度としているが、事業意図である豊かな学習
機会の提供や市民の学習意欲の高まりをはかることのできる指標
を検討してほしい。